



1024
 発行年
 2021年
 1月29日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 清野 聡
 編集責任者
 教 宣 部

大雪で在来線全て運休

運転見合わせ連日続く

新潟県の大寒波は年末年始、新年に入ってから発生し県内各地で大雪になりました。
 JR東日本・新潟支社は管内の在来線を計画運休とし除雪作業を行いました。
 しかし、運転見合わせが連日続き、1月は7・9・10・11日と在来線は全て終日運休となりました。



現場からの報告

保線区の職場から報告がありました。職場は委託化が進み要員が不足している。
 除雪作業について対応が不可能になっている。
 雪に慣れていない指令、駅、現場では連携が取れず除雪作業の変更が多発している。今回は平場でモかなり降雪が多く倒木、倒竹が多発した。



お知らせ

国労新潟地本の退職者激励会を3月27日(土)開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期にしました。

2020年度地本退職者激励会は新年度に入ってから開催する予定です。御協力よろしくお祈いします。

地本・執行委員会

極度の疲労困憊

除雪機械の稼働によって踏切へ持ち込む雪で通行車両が脱出できなくなったり、圧雪の段差による苦情対応に追われパトナー会社、JRとも連日、早朝、日中の踏切除雪と投排雪、MR除雪で食事や休憩も取れず30時間以上乗務する状況になっている。

機械除雪が終わわり初列車が動き出せば保線係員は側線に長時間放置されてしまう。厳しい環境での作業で現場の人達は極度の疲労困憊になっている。



MRの運行でポイント破損が発生している。技術力の低下などMRも故障させている。
 「とらん丸」は本線除雪には運用できない現場までの輸送・運搬ができないこと、5センチ以上の圧雪時は運用できない。

厳しい現場からの報告でした。この報告を受けて地本は会社側へ申し入れを行います。

編集後記

新潟県は年末年始、新年に入ってから大雪に見舞われました。

2018年1月を思わせるような大雪で新潟市は一晚で50センチ以上の降雪がありました。

最近是小雪であまり雪が降らない年が続く、雪に対しての抵抗力が弱くなったように感じます。

連日の除雪で疲れがピークに達しています。組合員の皆さんも大変な状況が続いていたと思います。

1月の後半、少し雪も落ち着きました。長期予報では、これから大雪にならないらしいです。そして春は早く来そうです。



今年は節分は2月2日で3日が立春です。立春「二十四節気」立春・立夏・立秋・立冬・春分・夏至・秋分・冬至など、これらの季節は「地球と太陽の位置関係」によって定められます。

春が待ち遠しいですね。雪国に住んでいると春は季節の中で一番好きな季節です。今年は特にそう感じます。

